

みみだより

松江ろう学校 支援部

No.3-1 2021/5/14

今年度も『みみだより』では、補聴器等の機器に関する情報や自立活動の取組等、聴覚障がいのある子どもたちとかかわる上で役立つ、みみよりな情報を提供していきたいと思います。

補聴器・人工内耳の管理について

補聴器・人工内耳は繊細な精密機械です。故障を予防し、長く活躍してもらうためには日頃の手入れが大切です。

①補聴器・人工内耳の汗対策!

汗は補聴器・人工内耳の大敵です。水分が内部に入ると故障の原因になります。

対策1: 汗をふき取る

汗をかいた後は、耳の後ろの汗をふく。

補聴器・人工内耳についた汗を乾いた布でふく。

電池もふくとよい。

対策2:乾燥させる

使わないときは乾燥ケースに入れて保管する。

*電池は取り出し、電池ドアを開けたままにする。

*乾燥剤の使用期限をチェックする。



校内の4カ所に補聴器・ 人工内耳用の乾燥機を設 置しています。休み時間 等に使用できます。



をチェック!

乾燥剤の色で交換の時期

対策3: カバーを使う

*布のカバーの場合、カバーがぬれたら、 外すか乾いたカバーに替える。



②補聴器・人工内耳のお手入れ

- ●本体: 乾いた布で汚れ等をふき取る。
- ●イヤモールド
- 表面の汚れはティッシュ等でふき取る。
- イヤモールドの中は、綿棒や歯間ブラシ、ティッシュをこよりにしたものを使って 汚れや水分を取りのぞく。
- 定期的に水洗いをする。

水洗い後は、チューブの中にたまった水をすべて吹き飛ばし、まだ残っている場合は、綿棒やティッシュをこよりにしたものを使って取り除く。表面はタオル等でふき、しっかりと自然乾燥させる。



- ③補聴器・人工内耳の電池について *人工内耳は充電池を使用する場合もある。
 - 電池は補聴器専用電池(空気亜鉛電池)を使用する。
 - ・空気電池はシールをはがすと放電し、使わなくても消耗するので、使わない時はシールを貼るなどして放電を防ぐ。
 - ・使用済電池は、セロハンテープなどで全体を貼り絶縁し、電気店等に設置された回 収箱に捨てる。

高等部の生徒がキーホルダーを作成しました!

R2 年度の総合的な学習の時間に、高等部の生徒が「みんなが笑顔で暮らせる社会」をテーマに学習をしました。その中で、自分たちにできることの 1 つとして、聴覚障がいについてわかってもらうためのマークを考え、キーホルダーを作成しました。幼児児童生徒の皆さんに贈呈されています。ぜひ、「みんなが笑顔で暮らせる社会」について考えるきっかけにしてみてください。

私たちはキーホルダーを作りました。このキーホルダーは、相手に耳が聞こえないことを知ってもらうための道具です。表は「耳が聞こえません」、裏は「紙に書いてください」ということを表しています。聞こえる人とつながりを作って、みんなが笑顔で暮らせる社会になってほしいという気持ちを込めて作りました。よかったらつけてみて下さい。 高等部生徒一同より

使ってくれて います!